

# 4. まちの骨格の景観形成、空間づくり

## (提案の主な内容)

- 東西軸・南北軸については、「みどり」や先行開発区域との関係性に配慮、賑わいの連続性の確保について意識した提案

(提案例)

東西軸



南北軸



# 4. まちの骨格の景観形成、空間づくり

## (提案の主な内容)

- 関空と直結する地下の新駅から地上へと上がる駅前広場の空間は各提案で強く意識され、景観形成上も重要



## (検討会での議論)

- 南北軸、東西軸は基本計画の考え方を一定尊重すべき

# 4. まちの骨格の景観形成、空間づくり

## 南北軸

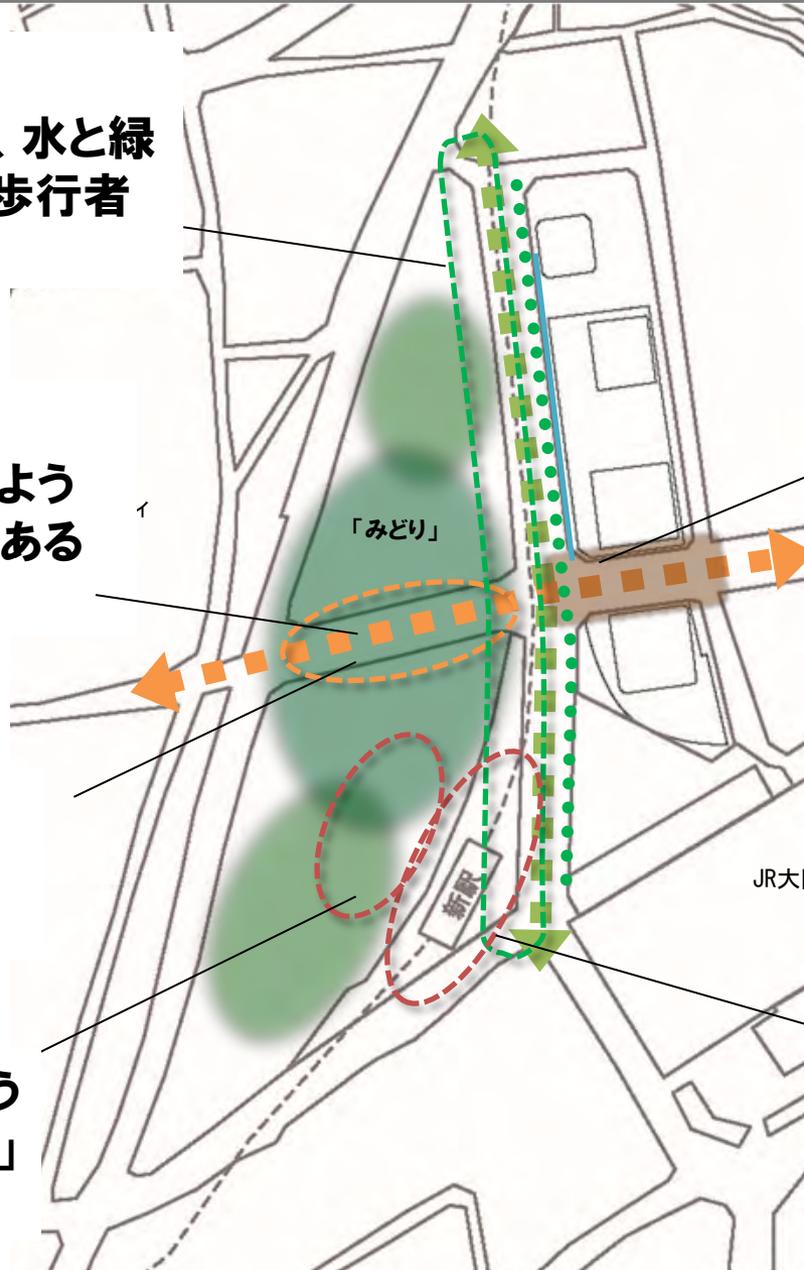
「みどり」と一体となり、水と緑を配置したゆとりある歩行者主体の空間形成

## 東西軸

「みどり」を体感できるように配慮しながら、賑わいある空間を形成

南・北街区の「みどり」の一体性、連続性の確保

新駅から地上に向かう人が印象的な「みどり」を体感できる工夫



阪急梅田駅方面、先行開発区域からの賑わいの連続性を意識

阪急梅田駅方面

JR大阪駅

## 西口広場

開放性やシンボル性を重視した空間形成

# 5. 交通ネットワーク

## （提案の主な内容）

- 歩行者が自由に行き来できる、回遊性ある歩行者ネットワークが中心のまちとしての提案
- 「みどり」の創出やにぎわいの機能の配置により地上レベルの回遊性の創出が必要で、歩行者利便性の向上にはデッキのネットワークが有効
- 駐車場の出入り口は全て地区西側に集め、東西軸・南北軸には設けない考え方を提案

## （検討会での議論）

- 地上でのにぎわいも必要。現状1期での2階レベルの主動線を、2期でどのように地上におろすかがポイントとなる

# 5. 交通ネットワーク



# 6. 災害に強いまちづくり

## （提案の主な内容）

- 「みどり」を中心とした一時避難者、帰宅困難者対策、津波・浸水対策に対応した空間確保の考え方や、災害時に機能する自立的なエネルギー拠点の設置、BCP等の総合的な仕組み等を提案

## （検討会での議論）

- 最低限の帰宅困難者の収容に加え、自立型のエネルギー確保は重要
- ハード・ソフトに加えヒューマンの視点を持ち、2期区域を安全で強靱なまちにするという考え方を打ち出すべき
- 当地区でBCPを考えることは重要、日本は災害に問題を抱えており、大きな災害が起きても早期に復旧するというメッセージは世界に打ち出す特徴として強く認識しておくべき

# 6. 災害に強いまちづくり

## ～周辺地域をも支える防災機能～

- 地震や津波等、大規模災害時においても、ハード・ソフトの両面からBCPに対応できる機能を備え、周辺地域も支えながら速やかに機能を回復し立ち直ることができるレジリエントなまちを実現、その価値を世界にも発信

(1) 大規模災害にも対応したレジリエントなまちの実現

(2) 自立型エネルギーインフラの導入

(3) 周辺地域も含めたBCPへの対応

# 7. 環境共生のまちづくり

## （提案の主な内容）

- 「みどり」と連携した時代の最先端の技術を採用入れた環境配慮の取り組みや、水素発電など実用化が期待される次世代の技術を提案

## （検討会での議論）

- 防災・環境は表裏一体で、非常時と常時の関係を示しておくことが重要
- 2020年前半の開発時点で最先端のものにしないといけない、技術進展の可能性を見ながら、事業者が提案する形にすべき

# 7. 環境共生のまちづくり

## ～未来の環境技術・システムの導入～

- 「みどり」の活用、最先端の技術の導入により、環境負荷の低減、エネルギーの効率化、低炭素化に取り組む
- 環境に関連する取り組みの成果を発信するなどにより、環境をテーマとするまちのブランド価値向上

(1)最先端の環境技術の導入

(2)災害時のBCP対応を兼ね備えた環境負荷の少ないエネルギーシステムの導入

(3)環境価値の可視化と発信

# 8. まちの管理運営

## （提案の主な内容）

- 先行開発区域の管理運営を踏まえた上で、持続的な「みどり」の管理運営、公共空間の維持管理、多様な主体の参加等を提案
- BID制度の活用等、資金の循環を生みだしまちづくりに還元するエリアマネジメントを提案
- 将来発展形として周辺地域等へも対象や財源をも拡大し、自律的・能動的なまちづくりを推進するあり方も提案

## （検討会での議論）

- 「みどり」は、持続的で質の高い管理の仕組みをどう実現するかが重要
- 周辺地区も一体的に管理運営できるような可変性、拡張性のある考え方とすべき

# 8. まちの管理運営

## ～拡張、発展させるエリアマネジメント～

- 「みどり」を中心とした公共空間等の一体的な管理運営に、防災・環境面での取り組みなども組み込み、安定的な財源確保等による自律的・持続的で質の高い管理運営
- 将来的なまちの変化とあわせて、エリアマネジメントにも可変性を持たせ、拡張・発展

(1) 質の高い「みどり」の運営管理

(2) 地区の競争力を高めるエリアマネジメント

(3) 可変性・拡張性を備えたエリアマネジメント

## 9. 周辺との一体的なまちづくり、周辺への波及効果等

### （提案の主な内容）

- 2期区域での機能や「みどり」の導入による波及効果を見込んだ提案
- 自然発生的な効果を期待するものに加え、容積移転等の制度構築等によりさらにその効果を高める提案も

### （検討会での議論）

- 実際のまちづくりまで時間があるので、「みどり」のまちづくりを周辺地域へ拡大するための仕組みづくりについて、別途、検討が進むようお願いしたい

## 9. 周辺との一体的なまちづくり、周辺への波及効果等

- **うめきた2期区域の開発の効果は、地区内にとどまらず周辺にも波及し、「みどり」のまちづくりを周辺へ拡大**

うめきた2期区域における「みどり」の創出は、周辺地域の価値を向上させ、土地利用転換など市街地更新を促す

「みどり」のまちづくりを周辺にも拡大、それらを誘発するための仕組み(例:大街区化、容積移転など)を検討

# 今後のスケジュール

